

けいおう

INVESTOR'S GUIDE

2006 年度
中間連結決算・事業報告を中心に
2006.4.1 ~ 9.30



信頼の根幹である「安全」と「沿線価値」の向上を図り選ばれる沿線を目指します

京王電鉄株式会社 取締役社長 **加藤 真**



連結中間純利益は130億円を計上
1株あたりの中間配当金は3円に

平素は、京王グループをご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

当上半期の京王グループは、着実かつ効率的な事業活動を展開し、引続き収益力の維持向上に努めてまいりました。この結果、連結中間純利益は130億円、京王電鉄における中間純利益は91億円となりました。

当期の中間配当金につきましては、去る10月25日の取締役会におい

て、1株につき3円と決定いたしました。今後も、引続き中間配当金を含む年間配当金を6円とすべく、安定的な利益の確保に努め、この配当水準を維持できるよう努力する所存でございます。

さらなる安全性の向上と、
グループ事業競争力の強化を図る

京王グループでは、少子高齢化や消費の多様化など将来の経営環境を見据え、信頼性向上と沿線価値向上を最優先課題と位置づけております。

本年10月から、改正された鉄道事業法等が施行され、法の目的に「輸送の安全の確保」が追加されました。京王グループの基幹事業である鉄道事業にとって、信頼の根幹をなす「安全」は最大の使命、最高のサービスであり、全てにおいて優先されるものです。当期は、鉄道事業における安全にかかわる設備投資を前期に比べて大幅に増加するとともに、当上半期には「運輸安全管理」を推進するため、安全に関する施策を専任で推進する部署

を設置するなど、管理体制の強化に努めました。さらに、運輸セグメントに属するグループ会社においても、「運輸安全管理」への取り組みを進めております。京王グループでは、引続き、社員全員が一丸となってさらなる安全性の向上に努めてまいります。

また、グループ事業競争力を強化するため、京王百貨店新宿店や京王プラザホテル札幌で施設の改装を実施したほか、新たな商業施設のオープンや定期借地権分譲マンションの販売などを実施し、収益力と沿線価値の向上に努めました。

なお、京王プレッソインにおいては、営業休止中の3店舗(茅場町、五反田、池袋)について、早期の営業再開を目指して準備を進めております。

経営体制の整備に努め、
企業の社会的責任を果たします

京王グループでは、「京王グ

ループ理念」に基づき、つながりあうすべての人からの信頼を確保するため、内部統制システムの確立や社外役員による経営監督機能の充実など、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでおります。また、事業所内保育所「サクラさーくる」を開設するなど、働きやすい労働環境の整備を進め、多様な人材の確保に努めております。

さらに、グループ各社の安全への取り組みや「京王クリーンキャンペーン」などの社会貢献活動、環境保全活動を紹介した「安全・社会・環境報告書」を発行いたしました。

今後も、法令を遵守し、様々な形で企業の社会的責任を果たすことにより、お客様から「選ばれる沿線」の実現と、「信頼のトップブランド」の確立を目指してまいります。

皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2006年11月

連結決算上の事業セグメント分類

(2006.4.1~9.30)

京王グループ	運輸業	
	京王電鉄(鉄道)	西東京バス
	京王電鉄バスグループ	多摩バス
	京王電鉄バス 京王バス東 京王バス中央 京王バス南 京王バス小金井	京王自動車 京王運輸 御岳登山鉄道
流通業		
京王百貨店	京王食品	
京王ストア	京王グリーンサービス	
京王リテールサービス	京王商事	
京王書籍販売	エリート	
京王電鉄(ショッピングセンター)	京王友の会	
京王バスポートクラブ		
京王アートマン		
不動産業		
京王電鉄(開発)	京王地下駐車場	
京王不動産		
レジャー・サービス業		
京王プラザホテル	京王エージェンシー	
京王プラザホテル札幌	京王レクリエーション	
京王プレッソイン	レストラン京王	
京王観光	京王コスチューム	
その他		
京王設備サービス	京王ビジネスサポート	
京王重機整備	京王情報システム	
東京特殊車体	京王ユース・プラザ	
京王建設	京王シニアスタッフ	
京王電鉄(情報通信)	新東京エリート	
京王ネットワークコミュニケーションズ		
京王アカウンティング		

印は持分法適用会社です。なお、セグメント分類上、京王電鉄が重複して含まれております。

運輸業

安全性向上のための施策実施と
バリアフリー化を推進

鉄道事業では、調布駅付近連続立体交差事業について、引続き用地取得や杭打ち工事を進めたほか、国領駅および布田駅の仮橋上駅舎化に着手しました。また、さらなる安全性向上のための施策として、自動列車制御装置(ATC)による新しい信号システムの設計に着手したほか、免震構造を施した鉄道総合指令所に、運転指令に続いて電力指令を収容し、地震災害に備えるとともに異常時などにおける連携の強化を図っております。さらに、近年の重大事故を受けた鉄道事業法



橋上駅舎の一部使用を開始した高幡不動駅

の改正に対応するため、組織改正を実施し、社員への教育の充実や安全管理推進のための体制を整えました。

バリアフリー化およびサービス向上策としては、高幡不動駅において、北側出入口を新設するとともに、エレベーター・エスカレーターや南北自由通路を備えた橋上駅舎を一部使用開始いたしました。また、京王稲田堤駅ではJR南武線稲田堤駅との乗り継ぎ

に便利な北側出入口にエレベーターを増設したほか、稲城駅でエスカレーターの新設や駅舎のリニューアルを行いました。また、関東地

区の多くの交通事業者との相互利用が可能なICカード乗車券「PASMO(パスモ)」の2007年3月の導入に向け、引続き自動改札機などの改修を行っております。

このほか、9月1日にはダイヤ改定を実施し、京王線と高尾線との乗り継ぎ改善による利便性の向上や、都営新宿線直通の急行・快速の終日10両編成化(一部を除く)井の頭線での深夜時間帯の列車増発による混雑緩和を図りました。

営業面では、新規の取り組みとして、家族で楽しめる沿線スポットを紹介する「京王沿線子育てファミリーお出かけマップ2006」の配布や、「京王プレミアムシートラリー」を開催するなど、お客様の誘致に努めております。

バス事業では、路線バスで、鉄道ダイヤの改定にあわせ一部ダイヤを変更したほか、八王子市西部地区において路線の再編成を実施いたしました。また、ノンステップバス52両を導入し、この結果、路線バス全車両の93%がバリアフリー対応となりました。



高速バス沼津線「新宿・渋谷～裾野・沼津」

高速バスでは、東名高速道路利用の路線として、沼津線「新宿・渋谷～裾野・沼津」の運行を開始したほか、大阪線「新宿～大阪(阪急梅田)」について渋谷駅への延伸を実施し、増収に努めました。

流通業

既存店舗の競争力強化と
新規店舗の出店などの
積極的な営業施策を展開

百貨店業では、「京王百貨店」新宿店において2階、3階および4階婦人服フロアの改装を実施し、新たなブランドを導入するなどフロアごとの特色を明確にするとともに、休憩スペースの整備などを行い、顧客満足度の向上



京王百貨店 新宿店

や新規顧客の獲得に努めました。

また、ストア業の「京王ストア」、書籍販売業の「啓文堂書店」を「京王リトナード稲城」にオープンし、駅売店業のコンビニエンスストア「K-Shop」を杏林大学八王子キャンパス内にオープンいたしました。

「京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター」では、B館8階レストラン街の改装を行い、「せいせきダイニング[クー!]」として



せいせきダイニング[クー!]

グランドオープンしたほか、「京王八王子ショッピングセンター」では地下1階食品売場の改装を実施いたしました。

京王パスポートカードでは、クレジット決済の利用金額に対してポイントを加算する「クレジットご利用ポイント」サービスを開始いたしました。なお、京王パスポートカードの9月末における会員数は約91万人となっております。

不動産業

賃貸資産を拡充し
収益機会を拡大

不動産賃貸業では、商業施設「京王リトナード稲城」、「京王リトナード八幡山」をオープンしたほか、「京王リトナード高井戸」および「フレンテ明大前」の建設工事を進めております。また、賃貸デザイナーズマンション「Hi-ROOMS方南町」の建設に着手するなど、引続き賃貸資産の拡充に努めております。

不動産販売業では、定期借地権分譲マンション「トラスティア北野」の販売



鉄道総合指令所に既に入所している運転指令(上)と、新たに収容された電力指令(右)

京王グループ事業概況



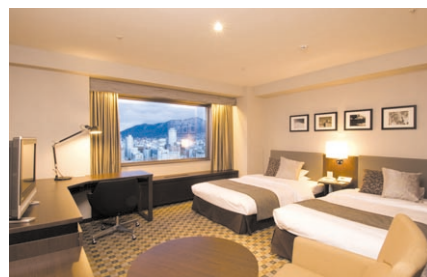
京王リトナード八幡山

を行ったほか、八王子みなみ野シティ「京王四季の街」や京王平山住宅地において新築戸建住宅を販売いたしました。

レジャー・サービス業

差別化による既存ホテルの競争力強化とビジネスホテルの建替工事に着手

ホテル業では、「京王プラザホテル(新宿)」において、館内各レストランで特別メニューを提供するなど、開業35周年を記念したイベントを開催いたしました。「京王プラザホテル札幌」では、19階・20階の客室を改装し、高級感あふれる「エグゼクティブフロア」としたほか、2階宴会場を改装するなど、他



京王プラザホテル札幌「エグゼクティブフロア」

のホテルとの差別化による競争力強化に努めました。京王プレッソインにおいては、営業休止中の3店舗については、早期の営業再開を目指して準備を進めておりますが、このうち茅場町、五反田の2店舗については10月に建替工事に着手いたしました。

広告代理業では、昨年に引き続き「オールトヨタ体感フェア 2006 in 味の素スタジアム」を企画・運営するなど、当社グループ外への営業拡大に努めました。

その他

拡大するグループ外への展開

ビル総合管理業では、PFI事業者として施設の維持管理・運営を行って

いる「杉並公会堂」が6月にオープンいたしました。また、指定管理者として施設の維持管理・運営を受託した「八王子市北野余熱利用センター(あったかホール)」で業務を開始したほか、「東京臨海新交通臨海線(ゆりかもめ)」の全16駅で駅電気設備管理業務を開始するなど、引続き当社グループ外への営業拡大に努めました。

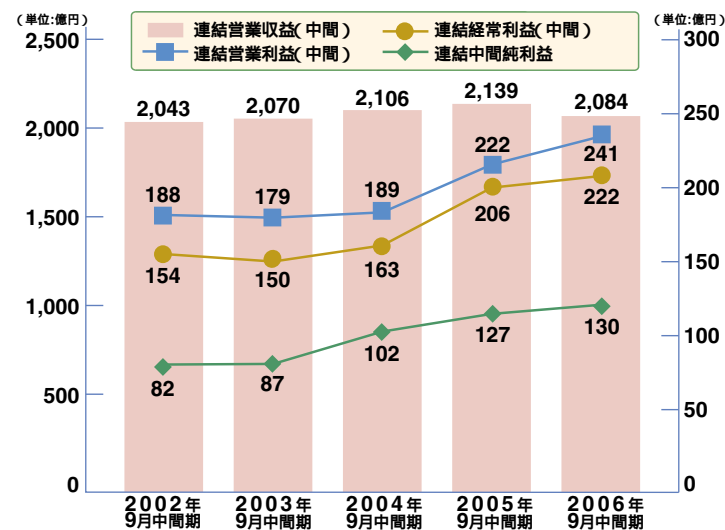
体験型学習施設「高尾の森わくわくビレッジ」では、東京都教育委員会と共催で青少年を対象としたキャンプや小学生の職業体験プログラムなどの社会教育事業を実施したほか、主催事業として小学生を対象とした環境を考えるエコキャンプを実施いたしました。



杉並公会堂

財務ハイライト 2006年 9月中間期

連結営業収益(中間)・連結営業利益(中間)・連結経常利益(中間)・連結中間純利益の推移



当中間期の連結決算では、運輸業、不動産業、その他で増収となりましたが、旅行業(レジャー・サービス業)において、一部の売上計上方法を変更したことなどにより、連結営業収益は2,084億円(前年同期比2.6%減)となりました。

連結営業利益は、減価償却費が増加したことなどにより、運輸業で減益となりましたが、他のセグメントで増益となり241億円(前年同期比8.6%増)、連結経常利益は222億円(前年同期比8.0%増)、連結中間純利益は130億円(前年同期比2.9%増)となりました。

事業セグメント別の営業収益・営業利益

事業セグメント	項目	(単位:百万円)		
		当中間期 (2006年9月中間期)	前中間期 (2005年9月中間期)	増減率(%)
運輸業	営業収益	65,363	64,493	1.3
	営業利益	12,255	12,879	4.8
流通業	営業収益	90,683	90,923	0.3
	営業利益	3,057	2,607	17.3
不動産業	営業収益	13,490	13,265	1.7
	営業利益	5,319	4,796	10.9
レジャー・サービス業	営業収益	36,808	42,908	14.2
	営業利益	2,741	1,742	57.3
その他	営業収益	19,947	18,579	7.4
	営業利益	840	403	108.3

(備考)記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

- 運輸業** 鉄道事業が輸送人員の増加により増収となったほか、バス事業でも増収となりましたが、鉄道事業で減価償却費が増加したことなどにより減益となりました。
- 流通業** ストア業・書籍販売業で新店の開業がありました。百貨店業で外商売上の減があり減収となりました。営業利益は、ストア業で増益となったことなどにより増益となりました。
- 不動産業** 不動産賃貸業・販売業ともに順調に推移し、増収増益となりました。
- レジャー・サービス業** 旅行業において、一部の売上計上方法を変更したことにより減収となりましたが、「京王プラザホテル(新宿)」の好調などにより増益となりました。
- その他** ビル総合管理業での新規業務受託の増などにより、増収増益となりました。

中間連結財務諸表 2006年 9月中間期

中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2006年9月30日)	前 期 (2006年3月31日)
【 資 産 の 部 】		
流動資産	124,485	99,659
固定資産	520,540	531,040
資産合計	645,026	630,700
【 負 債 の 部 】		
流動負債	166,009	158,124
固定負債	234,270	230,239
特別法上の準備金	3,519	4,692
負債合計	403,799	393,056
【 純 資 産 の 部 】		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,021	42,017
利益剰余金	119,802	108,651
自己株式	15,243	15,204
その他有価証券評価差額金	35,622	43,155
純資産合計	241,227	237,644
負債純資産合計	645,026	630,700

資産の部・負債の部は、2006年4月28日に無担保割引社債253億円を発行したことなどにより、増加しました。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金の減がありました。中間純利益の計上による利益剰余金の増などにより、増加しました。(中間連結株主資本等変動計算書をご参照ください)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益が増加しましたが、その他の法人税等の支払額の増加などにより、減少しました。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、有形固定資産や、その他の有価証券(コマーシャル・ペーパー)の取得による支出が増加したことなどにより、増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、無担保割引社債の発行などにより、増加しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2006年9月中間期)	前中間期 (2005年9月中間期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,541	28,104
税金等調整前中間純利益	22,307	21,133
減価償却費	14,551	14,207
その他	9,317	7,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,152	15,314
有形固定資産の取得による支出	19,434	17,420
その他	8,717	2,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,009	6,833
借入金・社債等の純増減額	18,901	4,950
配当金の支払額	1,853	1,861
その他	38	22
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1
現金及び現金同等物の増減額(+ + +)	16,400	5,957
現金及び現金同等物の期首残高	38,802	21,192
現金及び現金同等物の中間期末残高(+)	55,203	27,150

中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2006年9月中間期)	前中間期 (2005年9月中間期)
営業収益	208,498	213,984
営業費用	184,346	191,740
営業利益	24,152	22,243
営業外収益	1,240	1,323
営業外費用	3,127	2,953
経常利益	22,265	20,613
特別利益	1,597	1,934
特別損失	1,555	1,414
税金等調整前中間純利益	22,307	21,133
法人税、住民税及び事業税	10,606	10,421
法人税等調整額	1,397	2,023
中間純利益	13,099	12,736

(備考)記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
2006年3月31日残高	59,023	42,017	108,651	15,204	194,488	43,155	237,644
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当 ^(注)			1,853		1,853		1,853
取締役賞与 ^(注)			95		95		95
中間純利益			13,099		13,099		13,099
自己株式の取得				45	45		45
自己株式の処分		3		6	10		10
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						7,533	7,533
中間連結会計期間中の変動額合計	—	3	11,150	38	11,115	7,533	3,582
2006年9月30日残高	59,023	42,021	119,802	15,243	205,604	35,622	241,227

(注)2006年6月の定時株主総会における利益処分項目です。

京王電鉄(単体)中間財務諸表

中間貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2006年9月30日)	前 期 (2006年3月31日)
【 資 産 の 部 】		
流動資産	52,452	33,952
固定資産	480,216	492,659
資産合計	532,668	526,611
【 負 債 の 部 】		
流動負債	134,620	131,663
固定負債	207,884	203,559
特別法上の準備金	3,519	4,692
負債合計	346,024	339,914
【 純 資 産 の 部 】		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,018	42,017
利益剰余金	66,161	58,955
自己株式	15,243	15,203
その他有価証券評価差額金	34,682	41,902
純資産合計	186,643	186,696
負債純資産合計	532,668	526,611

中間損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2006年9月中間期)	前中間期 (2005年9月中間期)
営業収益	60,054	59,210
営業費用	42,587	41,550
営業利益	17,466	17,659
営業外収益	774	764
営業外費用	3,038	2,842
経常利益	15,203	15,581
特別利益	1,363	1,509
特別損失	1,098	1,375
税引前中間純利益	15,467	15,715
法人税、住民税及び事業税	7,470	7,460
法人税等調整額	1,156	1,307
中間純利益	9,153	9,562

会社概要・役員一覧・株式の状況

会社概要

会社設立 1948年6月1日
 本社所在地 〒206-8502 東京都多摩市関戸1丁目9番地1
 資本金 590億23百万円 従業員数 2,208名
 (2006年9月30日現在)

役員

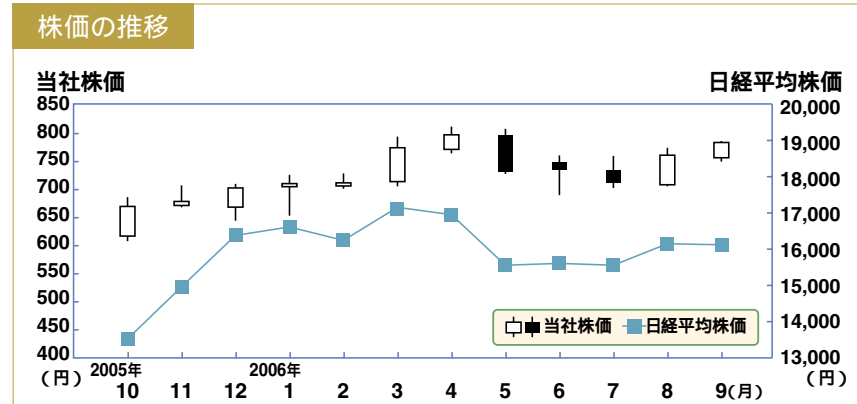
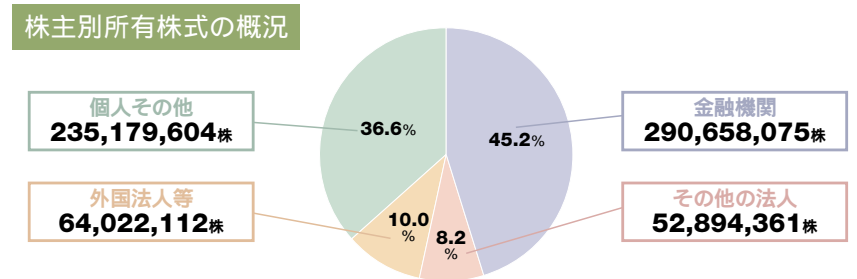
取締役会長 (代表取締役) 三枝 正幸
 取締役社長 (代表取締役) 加藤 夙
 常務取締役 下村 良太
 常務取締役 鈴木 豊明
 常務取締役 松木 謙吉
 常務取締役 島倉 秀市
 取締役 永田 正
 取締役 林 静男
 取締役 宮地 徳文
 取締役 五味 保雄
 取締役 早崎 博
 取締役 石橋 三洋
 取締役 宮田 洋一
 取締役 鈴木 紘一
 取締役 田中 茂生
 取締役 奥島 博之
 取締役 内藤 雅浩
 取締役 志村 康洋
 常勤監査役 齋地 健一
 常勤監査役 黒岩 法夫
 監査役 川嶋 一弘
 監査役 鈴木 光春
 (2006年9月30日現在)

株式の状況 (2006年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,580,230,000株 株主数 37,595名(前期末比173名減)
 発行済株式総数 642,754,152株
 大株主

株主名	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日本生命保険相互会社	44,948	6.99
第一生命保険相互会社	31,750	4.94
太陽生命保険株式会社	29,310	4.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	28,007	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,854	3.71

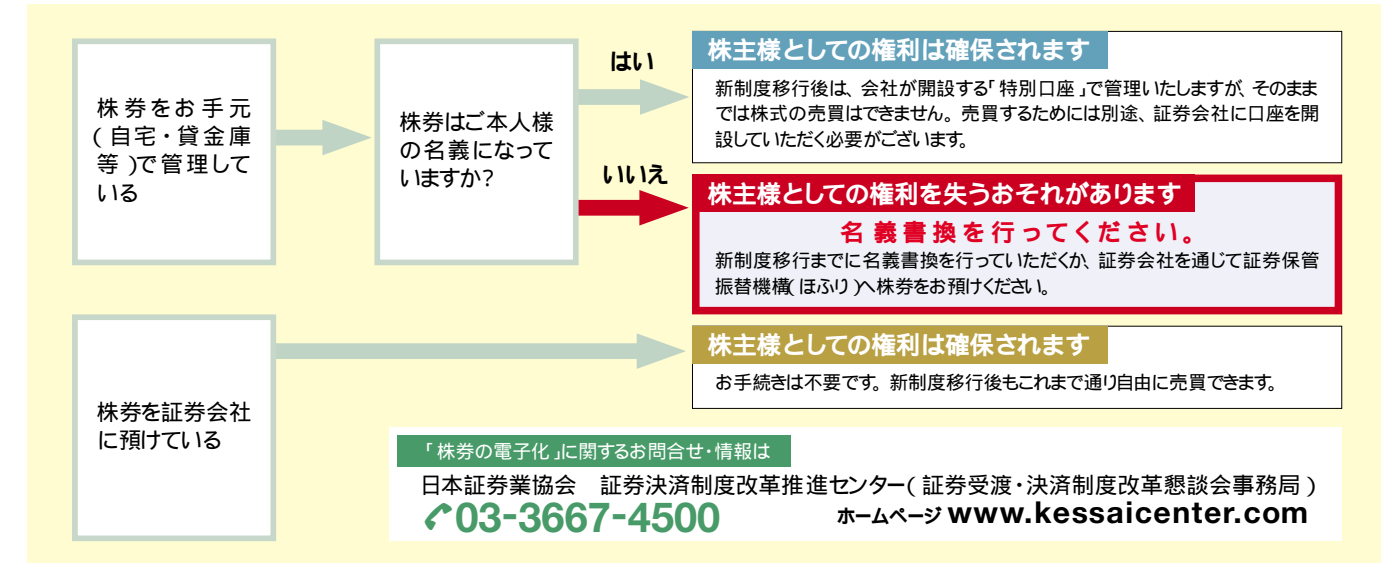
当社は自己株式を25,034千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。



株主の皆様へ 株券の電子化について

株券の電子化(株券ペーパーレス化)が2009年1月までに実施されます。

上場会社の株券は、2009年1月までに一斉に電子化(ペーパーレス化)され、無効となります。株主様としての権利は、電子化後も引き続き確保されます。ただし、現在お手元に株券をお持ちの場合は名義を確認しておく必要があります。



京王の株主優待制度 1,000株以上の株主の皆様はグループ会社優待割引をご利用いただけます。

ご優待内容

株主優待乗車証 ご所有株式数	1枚1乗車有効の 電車全線優待乗車券	優待バス
1,000株以上 30,000株未満	1,000株ごとに4枚	—
30,000株以上 57,000株未満	30枚	電車全線優待バス 1枚
57,000株以上	40枚	電車・バス全線優待バス 1枚

株式購入についてはお近くの証券会社まで

株主優待は半年に一度、送付いたします。

3月31日現在の株主の皆様 5月末送付 有効期間 6月~11月
 9月30日現在の株主の皆様 11月末送付 有効期間 12月~翌年5月

株主優待についてのお問合せ 京王電鉄 総務部総務担当 **042(337)3114**

京王電鉄/バス、京王/バス東、京王/バス中央、京王/バス南、京王/バス小金井各社の路線をご利用いただけます。
 なお、高速バス、空港直行バス、深夜急行バス等特殊バス、西東京バス・多摩バスではご利用になれません。

京王ホームページのご案内

当社ホームページでは、鉄道運行情報などの鉄道・バスのご案内をはじめ、京王グループ各社の情報、沿線情報などをご覧いただけます。投資家の皆様に役立つ情報については「IR・企業情報」のコーナーに掲載しておりますのでご覧ください。 www.keio.co.jp



京王の電車・バスのことなら……

電車の乗り継ぎ案内(携帯電話)

[www.keio.co.jp/\(i\)/\(j\)/\(e\)](http://www.keio.co.jp/(i)/(j)/(e))

高速バスインターネット予約(携帯電話)

「ハイウェイバスドットコム」 [www.highwaybus.com/\(i\)](http://www.highwaybus.com/(i))

路線バス時刻表検索(携帯電話)

「バスナビドットコム」 [www.bus-navi.com/\(i\)/\(e\)](http://www.bus-navi.com/(i)/(e))



表紙の言葉

表紙は、池ノ上～駒場東大前間を走行する井の頭線1000系車両と、本年7月にオープンした「京王リナード稲城」です。

井の頭線1000系車両は、1996年1月に営業運転を開始した井の頭線初の大型20m車両です。レインボーカラーを継承し、省エネルギー効果の高いVVVFインバーター制御装置と、1編成中1か所に車いすスペースを装備したステンレス車両で、現在75両が活躍しています。

京王リナード稲城は、「京王ストア」を核に、「啓文堂書店」や「コナミススポーツクラブ稲城」などの11店舗で構成された商業施設です。4階部分が稲城駅に直結し、施設内のエスカレーター・エレベーターを利用することで、駅をご利用されるお客様の利便性向上も図っています。

株主メモ

1. 決算期 3月31日
2. 定時株主総会 6月
3. 同総会議決権行使株主確定日 3月31日
4. 配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
5. 公告の方法 当社ホームページに掲載する
6. 公告掲載URL www.keio.co.jp/kigyoin/koukoku.html
7. 株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社
8. 同取次所 住友信託銀行本店および全国各支店

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行証券代行部

電話照会先 住所変更等用紙のご請求 [☎ 0120-175-417](tel:0120-175-417) その他の照会 [☎ 0120-176-417](tel:0120-176-417)

インターネットホームページURL
www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

けいおう
INVESTOR'S GUIDE
2006年11月発行

【お問合せ】広報部

☎ 042-337-3106

発行/京王電鉄株式会社

〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1

